

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本科目は、実社会の仕事や仕組みについて理解を深め、その上で就活での採用選考への対応を体系的に習得するものである。大学生の就職市場は、年度ごとに変化があるため最新の傾向を踏まえて幅広い対応力を蓄積する必要がある。講師の実務経験に基づいた的確な分析と最新の情報、さらに AI を取り入れた指導は、多くの成果を挙げてきた実績のあるもので、インターンシップへの取組み、業界研究、逆算のタイムマネジメント、等を順次教授するため、欠席は原則しないこと。就活は今や早期化し、一方で長期化にはまるリスクがあることを認識して取り組むことが肝要。また、本科目は「高等学校教諭第一種免許」教養課程の必修科目であるため、商業科目担当教員の視点から高校生に職業指導をするための基礎知識となる要素を含む。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション、評価方法の説明、受講ルール、「インターンシップ新定義」アンケート
第 2 回	「インターンシップ」が採用に直結！ 早期化する就活の現実を知り、今から行うこと
第 3 回	就職情報メディア・ポータルサイトメディアの特性とユーザー登録、使い分け
第 4 回	真っ先に行い最も重要なこと—自己分析による「自己PR」の作り方
第 5 回	エントリーシート (ES) の作文基礎講座—面接官が見るところ、社会人の好む文章・単語とは
第 6 回	「ビジネス経済応用」の観点から行う業界分析、データで読み取る就活の現状
第 7 回	これで万全「ガクチカ」—自然環境保護と本学の活動を使おう
第 8 回	企業分析の方法・志望動機の作り方、理解度小テスト①
第 9 回	「ダイレクト・リクルーティング」—応募する就活と「逆求人」の併用が最重要な理由
第 10 回	オンライン選考の対策、動画選考のコツ
第 11 回	苦手な「グループディスカッション」を得意に！—2つの必勝法
第 12 回	コツを知り自信をつければ面接は怖くない—「面接の8つのコツ」を伝授
第 13 回	就活の基本マナー：電話・メール・PC を就活で活用する方法
第 14 回	経済活動と法の観点から、SDGs、ESG 経営、働き方改革
第 15 回	振り返り、理解度小テスト②、最終課題レポートの提出
第 16 回	試験もしくは最終レポート提出

到達目標

1. 業界・業種ごとの知識を身に付け、それに基づき問題点や課題を指摘することができる。
2. 就職活動の実践に向けて、その方法を構想、計画ができる。
3. 就職活動の最新情報と利用すべきサービスを客観的に捉えることができる。

履修上の注意

- ・授業計画は変更になることがあります。
- ・夏休みまでに参加した「オンライン説明会、オープンカンパニー、インターンシップ」の状況を各自まとめておき、第 1 回目の講義の際のアンケート用紙に記入できる準備をしておくこと。
- ・講義の理解を深めるため、講義テーマと連動する動画を視聴することがあり、欠席者は視聴できない。
- ・授業開始から 30 分までは遅刻として受講を認める。30 分以上遅れての入室は欠席扱いとする。遅刻 3 回で 1 回の欠席扱いとし、欠席の累計が 5 回を超えると単位付与は行わない。

予習・復習

- ・予習：授業の最後に、次回の授業で取り扱うメインテーマやキーワード（関連する用語）を提示するので、それを予習として行った上で次回授業に望むこと。
- ・復習：毎回の授業では「授業内課題シート」を記載し提出する。それを確実に習得することを課す。前半・後半に分けて「理解度小テスト」を 2 回実施し、復習状況のチェックとし、単位評定に反映する。

評価方法

以下の 3 項目を数値化し、それに受講姿勢と習得状況を精査した総合評価とする。

- ・平常点（毎回の授業内課題シートの提出、予習課題の取組み） 50%
- ・理解度小テスト（前半・後半、2 回実施） 30%
- ・最終課題レポート 20%

テキスト

評価 テキストの指定はしない。スライドを準備し、必要に応じてプリントを配布する。